

The Focus on Innovation



FUJIBO

第195期 報告書

平成26年4月1日 ▶ 平成27年3月31日

富士紡ホールディングス株式会社 証券コード：3104



取締役社長

中野光雄

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社第195期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の事業の概況等について、次のとおりご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策の効果により、企業収益や雇用情勢の改善など全体として景気は穏やかな回復基調で推移しました。しかしながら、消費税増税前の駆け込み需要の反動と増税による消費者の節約志向により、個人消費は力強さに欠ける状況が続きました。加えて、円安による輸入原材料等の調達コスト増、欧州や新興国等海外経済の悪化懸念により、依然として先行き不透明な状況が続きました。

このような経営環境の下、当フジボウグループは、中期経営計画『邁進14-16』において重点事業と位置づけている研磨材事業、化学工業品事業、繊維事業の3事業を中心に営業力、開発力、生産力の強化を進め、あわせて収益性向上のための構造改革に取り組みました。

この結果、当期の連結売上高は41,173百万円（前期比1,859百万円、4.7%の増収）、営業利益は4,366百万円（前期比1,384百万円、46.4%の増益）、経常利益は4,471百万円（前期比1,433百万円、47.2%の増益）となりました。これに、特別損失、税金費用等を計上した結果、当期純利益は、2,382百万円（前期比611百万円、34.5%の増益）となりました。

当期の期末配当金につきましては、経営環境および業績等を勘案し、1株当たり6円とさせていただきたいと存じます。

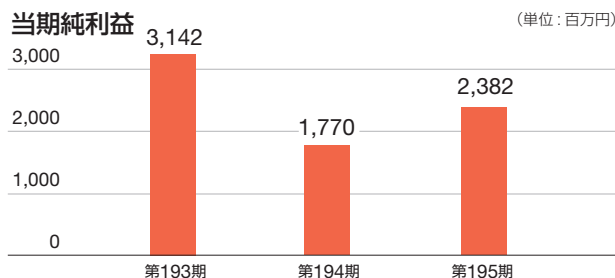
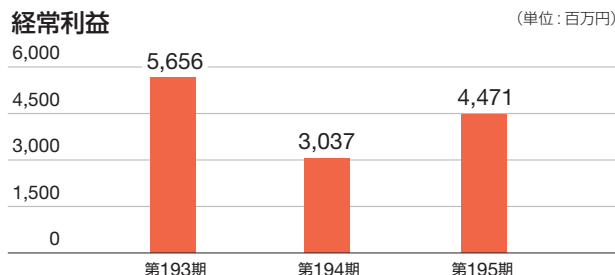
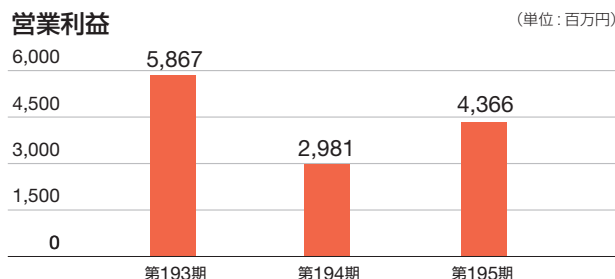
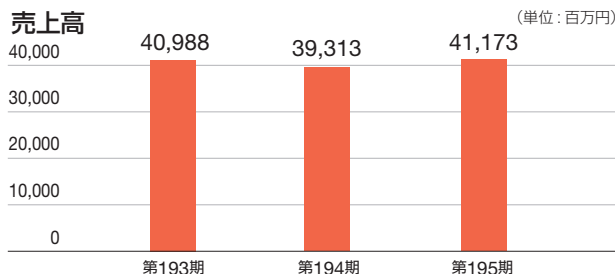
当フジボウグループは、企業価値の持続的拡大を最重要課題として、これまでの中期経営計画『変身06-10』、『突破11-13』に続き、平成26年度から

平成28年度を計画期間とする中期経営計画『邁進14-16』を策定し、平成26年4月よりこれを実行しております。本中期経営計画においては、① 重点3事業の成長加速、② 収益力あるニッチNo.1企業へ、③ 第4の柱となる事業育成、④ 経営力の更なる高度化を推進し、既存顧客、既存事業、既存製品・サービスの拡大による「連続的成長」の加速と、新規マーケット開拓、第4の柱事業育成、M&Aによる「非連続的成長」の種まきを行い、本格的成長へ邁進いたします。

計画実現に向けた施策として、最重点事業である研磨材事業では、最先端プロセス・次世代プロセスへの対応により顧客満足度を高め、高収益分野の拡大を進めております。また、マーケティング機能を活用し、研磨材周辺部材を中心に新規用途需要の掘り起こしを行うとともに、研究開発部門の強化によりユーザーからの喫緊の要望に対応し、売上拡大につなげています。あわせて、受注の拡大に対応するため、フジボウ愛媛株式会社小坂井工場に製造ラインの増設を進めております。化学工業品事業では、柳井化学工業株式会社が、柳井工場内に新工場を増設し、設備能力の拡大に取り組んでおります。繊維事業では、繊維製品のOEMも含めたブランド再構築による販売チャネルの拡大と、国内外グループ事業会社の素材、加工、縫製など生産能力の総合的な活用によるコストダウンなど、成長加速に向けた体質強化に取り組んでおります。その他の事業では、第4の柱事業と位置づけております貿易事業、化成品事業への人材をはじめとする経営資源の投入により、事業規模の拡大を進めております。

株主の皆様におかれましては、今後とも引き続き変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月

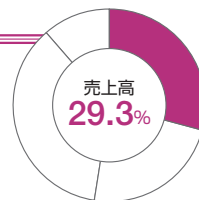


研磨材事業



主力の超精密加工用研磨材は、半導体需要の好調な推移を背景に半導体デバイス用途（CMP）が拡大し、シリコンウエハー用途、ハードディスク用途も堅調に推移しました。また、一般工業用途も受注が回復しました。

この結果、売上高は前期比2,421百万円（25.1%）増収の12,072百万円となり、営業利益も1,429百万円（65.5%）増益の3,612百万円となりました。

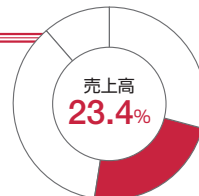


化学工業品事業

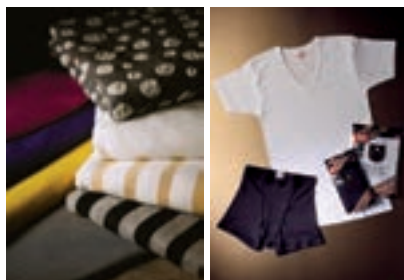


機能化学品および医薬中間体などの受託製造は、農薬・機能性材料を中心に柳井工場はフル生産を継続することができました。武生工場は設備投資の効果により生産量が増加しました。

この結果、売上高は前期比520百万円（5.7%）増収の9,613百万円となり、営業利益も71百万円（17.9%）増益の469百万円となりました。

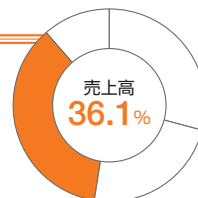


繊維事業

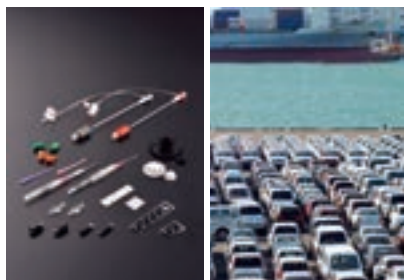


繊維事業では、物流費を中心とする販売費の削減に加え、紡績から編立、加工、縫製まで国内外のグループ内素材調達・生産機能を活用することで収益の改善を図りました。しかしながら、消費税増税前の駆け込み需要の反動が長引き、繊維製品の売上が伸びず、また円安による輸入原材料価格上昇など、厳しい環境が続きました。

この結果、売上高は前期比1,115百万円(7.0%)減収の14,883百万円となり、営業利益も104百万円(30.6%)減益の235百万円となりました。

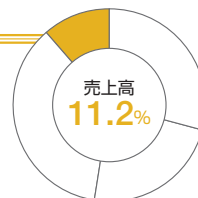


その他の事業

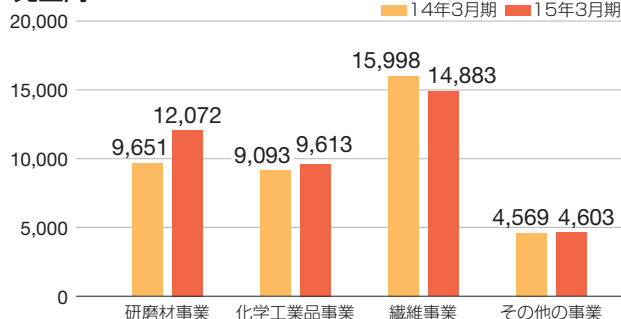


アジアから中南米への輸出をメインとする貿易部門では、自動車関連はタイヤ・部品等は堅調に推移しましたが、自動車以外の機械部品輸出が減少しました。化成部品部門は、デジタルカメラ用部品は回復に至りませんでした。自動車用部品は回復基調となり、医療機器用部品をはじめとする新規用途が拡大しました。精製部門は、溶剤再生のためのエネルギーコスト上昇により苦戦しました。

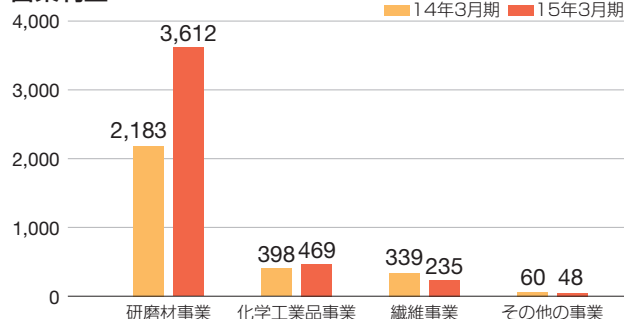
この結果、売上高は前期比33百万円(0.7%)増収の4,603百万円となりましたが、営業利益は11百万円(19.7%)減益の48百万円となりました。



売上高



営業利益





研磨材事業

テンプレート新製造ライン、もうすぐ本格稼働へ

液晶ディスプレイ、シリコンウエハー、ハードディスク用基板、半導体デバイスなどのハイテク製品には、超精密研磨が欠かせません。フジボウ愛媛(株)は、長年にわたって培ってきた技術と経験により、研磨材事業で独自の地位を築いてきました。

この度、拡大を続ける研磨材関連の需要に応えるため小坂井工場(愛知県豊川市)にテンプレート製造ラインを新設し、平成27年10月からの本格稼働に備え、最終の調整作業に入っています。



テンプレート製品群

テンプレートは、シリコンやサファイアなどの精密研磨プロセスにおいて研磨対象物を固定する材料です。研磨対象物にナノ(1ナノメートルは100万分の1ミリメートル)レベルの仕上がり精度が求められる研磨プロセスにおいて、高い精度の品質を確保するために不可欠なもので、その製造には高い品質管理能力が求められます。

フジボウ愛媛(株)では、ダイナミックに変動する市場とより高度で多様化するお客様のニーズに応えるため、引き続き新たな研磨材製品の開発に努めてまいります。



小坂井新テンプレート工場建屋

化学工業品事業

急ピッチで進む第4工場の建設

フジボウグループの化学工業品事業を一手に担う柳井化学工業(株)。大手化学メーカーからの委託を受け、医薬、農薬、電子材料および機能性化学品など有機化学合成品の中間体を製造しています。

お客様の増産要請に応えるため、柳井工場(山口県柳井市)において平成26年8月から第4工場の建設に着手し、平成27年10月の稼働に向けて急ピッチで工事が進んでいます。



中期経営計画『邁進14-16』に沿って約2倍に拡張した工場の敷地には、生産量増加を見越した各種倉庫を新設、従業員の増加に対応した厚生施設の移設などもすでに完了しています。

新工場は、最新の耐震・耐火性能も備えており、周囲の環境にも十分配慮した設計となっています。大型機器の設置を終え、間もなく竣工を迎える予定です。本格的に動き始めれば、4年前に稼働した第2工場に匹敵する生産能力を擁し、新規テーマにも柔軟に対応できるマルチプラントとして、多品種少量生産にも応え、品質と安全の両面から極めてフレキシブルな生産体制の構築が可能となります。



建設中の柳井第4工場建屋

企業CM

6秒の魔術師“未来をささえる”フジボウを描く

フジボウグループの新しい企業CMをご存知ですか。文字による情報発信・共有から始まったSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の最新のムーブメントの一つが動画共有です。動画共有アプリ「Vine（ヴァイン）」は、わずか6秒ですが動画を投稿したり、視聴したりできるサービスで、現在世界中のユーザーが創意工夫を凝らした“おもしろい動画”を競っています。



その「Vine」において、どうやって作るかわからないトリック動画で「6秒の魔術師」として一躍有名になり、世界的なスポーツ用品メーカーのCMでも話題となったザック・キング氏を、今回の当社企業CMに起用しました。

フジボウグループの基幹3事業である研磨材事業、化学工業品事業、繊維事業をとおして未来へ邁進する企業像を、鮮やかな手品を見ているような驚きのアイデアで表現しています。

富士紡ホールディングスとザック・キング氏のコラボレーションによる“ザック マジック”をぜひご覧ください。

繊維事業

逆風に負けない付加価値を

国内およびタイ、中国、アセアン諸国の協力工場を含めた設備増強により、お客様の多様なニーズに最適解で応えています。B.V.D.メンズでは、品質・機能+αで更なるブランド力の向上を図りました。際立つ白さと肌触りの良さ、立体フォルムで体にフィットする「肌綿」、綿100%にこだわり、天然素材本来のさわやかな着心地を追求した「Finest Touch EX」がお客様に大好評です。



大手流通小売業からの高い要求にも応え、OEMも急拡大しています。

アングル(株)の百貨店向け婦人肌着「美Style」は、綿100%の良さはそのままに、吸水速乾性を高め、さらにフジボウテキスタイル(株)和歌山工場のシアバター成分配合加工により保湿性も高め、縫製方法などにも配慮した素肌に優しい新製品です。

和歌山工場は、保湿性などの機能加工とともに、「ローズベトール」など高品位な風合い加工で、高級テキスタイル分野で高い評価を得ています。

円安に加えて原綿の価格高騰が続く中、グループ各社の持ち味を活かして、お客様に支持される高付加価値商品の創造を目指します。



連結貸借対照表

(単位: 百万円)

科 目	当期 平成27年3月31日現在	前期 平成26年3月31日現在
資産の部	48,677	44,679
流動資産	19,756	18,153
現金及び預金	3,239	2,113
受取手形及び売掛金	9,652	8,999
商品及び製品	3,224	3,313
仕掛品	1,577	1,515
原材料及び貯蔵品	1,268	1,235
繰延税金資産	407	335
その他	398	651
貸倒引当金	△11	△11
固定資産	28,920	26,526
有形固定資産	25,795	24,151
建物及び構築物	4,990	4,915
機械装置及び運搬具	3,899	4,164
土地	13,994	13,774
リース資産	53	33
建設仮勘定	2,335	542
その他	522	721
無形固定資産	415	315
投資その他の資産	2,709	2,059
投資有価証券	2,328	1,637
長期貸付金	14	14
繰延税金資産	63	83
その他	306	330
貸倒引当金	△3	△6
資産合計	48,677	44,679

(単位: 百万円)

科 目	当期 平成27年3月31日現在	前期 平成26年3月31日現在
負債の部	23,846	22,652
流動負債	14,987	13,728
支払手形及び買掛金	4,751	5,196
電子記録債務	505	—
短期借入金	4,426	5,037
リース債務	97	76
未払法人税等	1,038	108
繰延税金負債	2	—
賞与引当金	699	642
返品調整引当金	155	167
設備関係支払手形	667	383
その他	2,644	2,116
固定負債	8,859	8,924
長期借入金	870	609
リース債務	268	147
繰延税金負債	1,305	1,247
再評価に係る繰延税金負債	1,317	1,477
退職給付に係る負債	4,676	4,956
資産除去債務	215	214
その他	204	270
純資産の部	24,830	22,027
株主資本	21,536	19,515
資本金	6,673	6,673
資本剰余金	2,174	2,174
利益剰余金	12,752	10,728
自己株式	△63	△60
その他の包括利益累計額	3,294	2,511
その他有価証券評価差額金	748	394
繰延ヘッジ損益	△6	△0
土地再評価差額金	2,369	2,283
為替換算調整勘定	362	176
退職給付に係る調整累計額	△179	△341
少数株主持分	0	0
負債純資産合計	48,677	44,679

連結損益計算書

(単位: 百万円)

科 目	当期	前期
	自 平成26年4月 1 日 至 平成27年3月31日	自 平成25年4月 1 日 至 平成26年3月31日
売上高	41,173	39,313
売上原価	27,549	27,184
売上総利益	13,623	12,128
販売費及び一般管理費	9,257	9,146
営業利益	4,366	2,981
営業外収益	395	416
受取利息	3	3
受取配当金	38	32
固定資産賃貸料	206	241
その他	145	139
営業外費用	289	360
支払利息	90	93
固定資産賃貸費用	80	152
その他	118	115
経常利益	4,471	3,037
特別利益	1	43
固定資産売却益	1	5
投資有価証券売却益	0	0
負ののれん発生益	—	6
投資有価証券清算益	—	31
特別損失	672	250
固定資産処分損	117	105
減損損失	516	137
その他	38	7
税金等調整前当期純利益	3,800	2,830
法人税、住民税及び事業税	1,681	988
法人税等調整額	△262	46
少数株主損益調整前当期純利益	2,382	1,795
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	△0	24
当期純利益	2,382	1,770

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

科 目	当期	前期
	自 平成26年4月 1 日 至 平成27年3月31日	自 平成25年4月 1 日 至 平成26年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,513	2,966
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,459	△3,632
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,017	△354
現金及び現金同等物に係る換算差額	92	54
現金及び現金同等物の増減額(減少: △)	1,129	△965
現金及び現金同等物の期首残高	2,109	3,074
現金及び現金同等物の期末残高	3,239	2,109

連結株主資本等変動計算書

(単位: 百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額						少数株主 持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証 券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	6,673	2,174	10,728	△60	19,515	394	△0	2,283	176	△341	2,511	0	22,027
会計方針の変更による 累積的影響額			177		177								177
会計方針の変更を反映した 当期首残高	6,673	2,174	10,905	△60	19,693	394	△0	2,283	176	△341	2,511	0	22,205
当期変動額													
剰余金の配当			△583		△583								△583
当期純利益			2,382		2,382								2,382
土地再評価差額金の取崩			47		47								47
自己株式の取得				△3	△3								△3
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)						354	△5	86	185	162	783	0	783
当期変動額合計	—	—	1,846	△3	1,842	354	△5	86	185	162	783	0	2,625
当期末残高	6,673	2,174	12,752	△63	21,536	748	△6	2,369	362	△179	3,294	0	24,830



■ 会社概要 (平成27年3月31日現在)

商 号	富士紡ホールディングス株式会社
本 社 所 在 地	〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町一丁目18番12号
大 阪 支 社	〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町一丁目8番12号
設 立	明治29年3月24日
資 本 金	66億7383万2000円
従 業 員 数	単体90名 連結1,519名
主要な事業内容	1.各種繊維製品の製造、加工、販売 2.研磨材・不織布・合皮の製造、加工、販売 3.各種化学工業品の製造、加工、販売

■ 連結対象会社 (平成27年3月31日現在)

織 維 事 業	研 磨 材 事 業
フジボウテキスタイル(株)	フジボウ愛媛(株)
タイフジボウテキスタイル(株)	富士ケミクロス(株)
(株)フジボウアパレル	化 学 工 業 品 事 業
フジボウトレーディング(株)	柳井化学工業(株)
(株)フジボウソーイング	そ の 他 の 事 業
(株)サドソーイング	フジボウテキスタイル(株)
富士紡服飾股份有限公司	フジボウ愛媛(株)
富士紡(常州)服装有限公司	三泰貿易(株)
シンタナフジボウコーポレーション	富士化工(株)
アングル(株)	豊門商事(株)
富士紡(上海)商貿有限公司	
フジボウ愛媛(株)	
三泰貿易(株)	

■ 役員 (平成27年6月26日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	中 野 光 雄
代表取締役 専務執行役員	青 木 隆 夫
取締役 常務執行役員	吉 田 和 司
取締役 上席執行役員	小 林 敏 彦
取締役 上席執行役員	大久保 制 宇
取 締 役	中 野 雅 男
取 締 役	茅 田 泰 三
常 勤 監 査 役	松 尾 弘 秋
常 勤 監 査 役	江 川 邦 彦
監 査 役	飯 田 直 樹
監 査 役	百 瀬 一 夫

(注) 1. 取締役の中野雅男、茅田泰三の両氏は社外取締役であります。
2. 監査役の江川邦彦、飯田直樹、百瀬一夫の3氏は社外監査役であります。

■ 執行役員 (平成27年6月26日現在)

上 席 執 行 役 員	木 原 勝 志
上 席 執 行 役 員	小 林 智 之
上 席 執 行 役 員	藤 岡 敏 文
執 行 役 員	北 口 保
執 行 役 員	川 島 直 樹
執 行 役 員	鈴 木 眞
執 行 役 員	野 口 篤 謙



■ 株式の状況

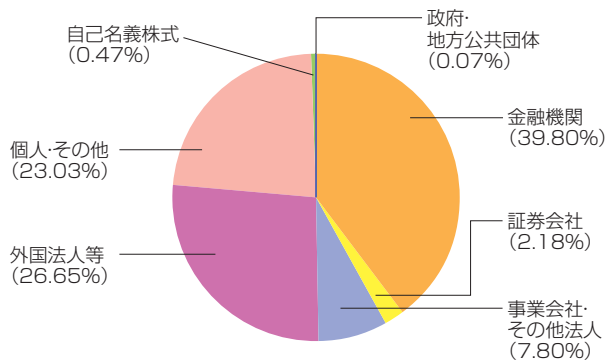
発行可能株式総数 300,000,000株
発行済株式の総数 117,200,000株
株主数 8,262名

■ 大株主

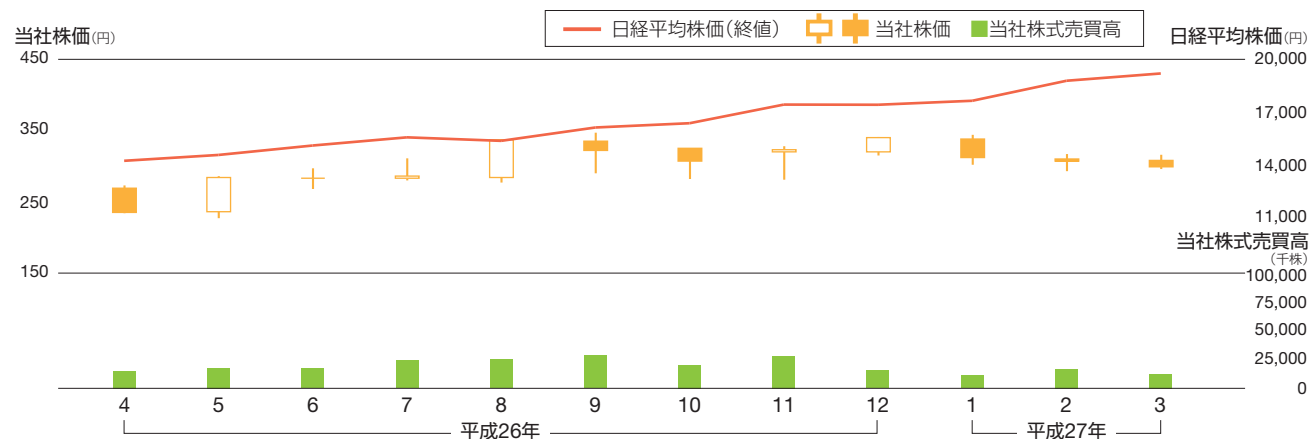
株 主 名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	8,574,000	7.35
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	8,078,000	6.92
明治安田生命保険相互会社	5,335,000	4.57
株式会社三菱東京UFJ銀行	5,000,000	4.28
BBH (LUX) FOR FIDELITY FUNDS PACIFIC FUND	4,574,000	3.92
JP MORGAN CHASE BANK 380634	3,609,000	3.09
三菱UFJ信託銀行株式会社	3,225,000	2.76
フジボウ共栄会	2,761,000	2.36
福 岡 務	2,062,000	1.76
旭硝子株式会社	2,000,000	1.71

(注)持株比率は、自己株式(549,494株)を控除して計算しております。

■ 所有者別分布状況



■ 当社株価・売買高および日経平均株価の推移 (東京証券取引所)



株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-7111（通話料無料）
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.fujibo.co.jp/>
(ただし、やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にもお取次ぎいたします。
3. 未受額の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページURL <http://www.fujibo.co.jp/>



富士紡ホールディングス株式会社

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 1-18-12 TEL 03-3665-7777(代)

